

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援（第3期）				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	水野 かほる
		所属・職名	静岡県国際交流協会・主任	氏名	古橋 哉子
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸

講演題目	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>1. 目的 静岡県内の外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援を通じて、日本語教育、言語学、社会学等の学際的かつ実践的研究を行うと同時に、支援者の大学生および支援対象の外国ルーツの子どもたちを「将来に渡り多文化・多言語社会を担う人材」として人材育成を行う。</p> <p>2. 背景 静岡県は、外国人人口では全国8位だが、公立小中高校に在籍し日本語指導を必要とする子どもの数では4位と「子ども移民」の多さが特徴的である。また、県内には南米系外国人学校が10校あり、在籍者総数は1000人を超える。彼らの多くが卒業後も静岡で暮らし働くが、日本語教育の指導者も指導時間も圧倒的に不足している。公立学校および外国人学校在籍者の双方への支援が必要である。</p> <p>3. 成果</p> <p>【教育・研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語教育学 AB」「日本語教授法Ⅰ・ⅡAB」の受講生をエスコーラ・オブジェチャーボ・デ・イワタ（磐田市、以下「オブジェチャーボ校」と略す）へ派遣し日本語科目の指導補助を行った。 ・高畑ゼミの学生を月に1度、学校法人ムンド・デ・アレグリア学校（浜松市）へ派遣し日本語教育の補助を行った。高畑ゼミの学生が、静岡市教育委員会が主催する外国ルーツの子ども支援および多文化交流事業の実施補助を行った（2021年8月7日・多言語の高校進学ガイダンス、11月17日・森下小学校多言語交流会）。 <p>【社会貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高畑は、静岡県の在住外国人を対象とする日本語支援や生活支援につながる公開講座で講師を務めた。（例：2021年11月20日「『外国ルーツ住民』の地域共生を支える多職種連携」（主催・静岡大学）、2022年3月11日「日系人としてのフィリピン人～来日の背景や生活状況等」（主催・浜松市国際交流協会） <p>【論文・口頭報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高畑幸・水野かほる、2021、「静岡県における南米系外国人学校—日本語教育の課題を中心に」『国際行動学研究』15: 65-76. ・高畑幸、2021、「静岡県における定住外国人の高齢化—令和2年度静岡県多文化共生基礎調査の60歳以上回答者141人の生活課題」『国際関係・比較文化研究』20(1): 113-127. ・水野かほる・高畑幸、2019、「日本における子ども移民の増加と日本語教育の課題」第6回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム、2019年8月21日、場所：延辺大学（中国・延吉市）他多数